

# SBI ボンド&プライベート・エクイティ・ファンドⅢ

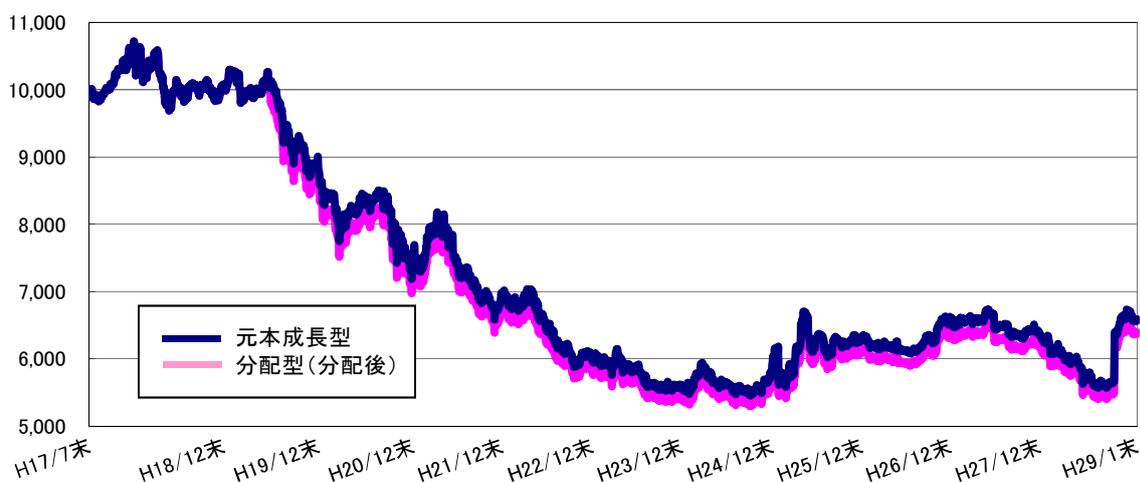
## 〈愛称〉SBI 未公開株組入ファンドⅢ

### 月次運用報告書〔平成29年1月〕

クラス	1口当たり純資産価格 (月末)	前月末比	純資産総額 (月末)	月次 騰落率	設定来 騰落率
元本成長型	6,572円	▲115円	2,125百万円	▲1.72%	▲34.28%
分配型	6,377円	▲112円	353百万円	▲1.73%	▲33.23%
合計			2,478百万円		

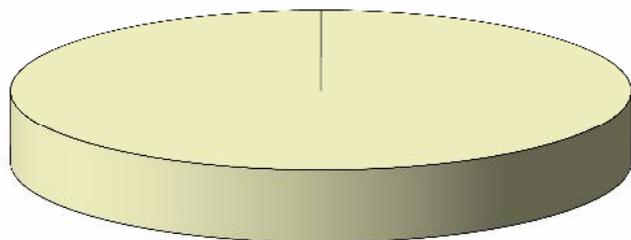
(※分配型の分配金累計額は、1口当たり300円です。)

### 設定来の1口当たり純資産価格の推移 (単位:円)



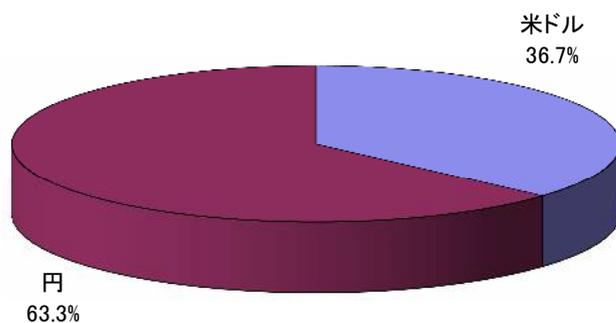
### 資産配分 (時価ベース)

上場株式 0.000%  
米国債券等 0.005%



現金等  
99.995%

### 通貨配分



### ＜当月末の為替＞

	レート(円)	前月比(%)
ドル/円	114.19	-2.96%

※為替レートは、ルクセンブルグファンドで適用の為替レートを採用しています。

※為替レートの前月比は、プラスは円安・ドル高、マイナスは円高・ドル安です。

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

本資料は、ファンドの運用状況等を開示することを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は、信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中の運用実績に関するグラフ、数値等は過去のものであり、今後の運用成果や市場環境等を保証するものではありません。投資信託は、株式等値動きのある証券に投資しますので、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

管理会社 SBI ファンドマネジメントカンパニーエスエー

(SBI Fund Management Company S.A.)

所在地 ルクセンブルグ大公国 ルクセンブルグ L-2520 アレ・シヤファー5

(5, Allee Scheffer, L-2520 Luxembourg, Grand Duchy of Luxembourg)

## ファンドの概況

ファンドの2017年1月末の純資産総額は約24億78百万円で、前月末比約78百万円の減少となりました。1口当たり純資産価格(NAV)については、元本成長型は▲1.72%、分配型は▲1.73%下落しました。

1月末時点の時価ベースでの資産配分は、米国債券等0.005%、上場株式0.000%と、ほぼ現金等となっています。

なお、本ファンドは、既に販売会社を通じてご案内のとおり、約款および英文目論見書等の規定に従い、2017年2月28日に清算することが決定しております。

## 1. 投資環境

### ■ 日本

1月の株式市場は、トランプ米大統領の言動に影響を受ける展開となりました。月初は、世界的な製造業の景況感改善などを受けて上昇してスタートしたものの、トランプ氏の就任前の会見で市場が期待していた経済対策への言及がなかったことや、英国のハードブレグジット懸念の台頭から、円高・ドル安が進み、幅広い銘柄に売りが広がりました。中旬は、イエレン米連邦準備理事会(FRB)議長の講演をきっかけに米利上げペースの加速が意識され、急速に円安・ドル高が進行し、株式市場は上昇しました。さらに、トランプ氏の大統領就任後は、堅調な米企業決算に加え、事前に表明していたインフラ投資が速やかに実行されるとの期待の高まりから、ダウ工業株30種平均が20,000ドルを突破し、国内株式も一段と上昇しました。月末にかけては、トランプ氏の入国制限を巡る大統領令や、日米自動車貿易への批判を受けた貿易摩擦への警戒感から調整が進みました。

指数の動きは、日経平均株価▲0.4%、TOPIX+0.2%、日経ジャスダック平均株価+4.7%、東証マザーズ指数+5.4%となりました。

---

本資料は、ファンドの運用状況等を開示することを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は、信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中の運用実績に関するグラフ、数値等は過去のものであり、今後の運用成果や市場環境等を保証するものではありません。投資信託は、株式等値動きのある証券に投資しますので、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

管理会社 SBI ファンドマネジメントカンパニーエスエー

(SBI Fund Management Company S.A.)

所在地 ルクセンブルグ大公国 ルクセンブルグ L-2520 アレ・シヤファー5  
(5, Allee Scheffer, L-2520 Luxembourg, Grand Duchy of Luxembourg)

## 2. 未公開株式運用部分

### <直接投資>

当月末において保有している未公開株式はありません。

### <私募投信経由の投資>

当月末において保有している未公開株式はありません。

### 運用状況

当月は未公開株式の売買はありませんでした。

未公開株式については、基本的に新規組入れは行いません。

## 3. 上場株式運用部分

### (1) 上場銘柄一覧

#### <国内上場>

当月末において保有している上場銘柄はありません。

### (2) 運用状況

当月上場株式運用部分は、IPO 1銘柄0.7百万円を売却しました。1月末の組入比率は前月と同様0.0%となりました。

### (3) 投資方針

トランプ米大統領の保護主義政策や入国制限などの大統領令への警戒感から、国内株式は調整を強めています。今後は、米国経済の回復や国内企業業績の底打ちから堅調さを取り戻すと考えています。一方、リスク要因としては、引き続き欧州での政治イベントや中国の景気減速懸念などが挙げられます。

なお、本ファンドは2017年2月28日の清算に向け、組入資産の現金化を進めています。

1月は79百万円の資金流出となりました。

---

本資料は、ファンドの運用状況等を開示することを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は、信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中の運用実績に関するグラフ、数値等は過去のものであり、今後の運用成果や市場環境等を保証するものではありません。投資信託は、株式等値動きのある証券に投資しますので、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

管理会社 SBI ファンドマネジメントカンパニーエスエー

(SBI Fund Management Company S.A.)

所在地 ルクセンブルグ大公国 ルクセンブルグ L-2520 アレ・シヤファー5  
(5, Allee Scheffer, L-2520 Luxembourg, Grand Duchy of Luxembourg)

#### 4. 米国債券部分

〈組入上位銘柄〉

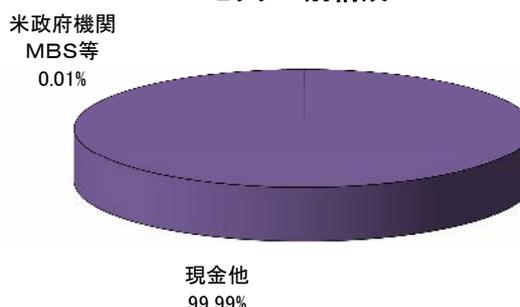
	銘柄名	シリーズ	クラス	クーポン	償還日	セクター	組入比率	格付け
1	フレディマック			6.000%	2017/02/01	モーゲージ債券	0.00%	AGY
2	ファニーメイ			1.976%	2017/02/01	モーゲージ債券	0.00%	AGY

●AGY = 政府系金融機関債と同等の格付けクラス

ベンチマーク比較

	ファンド	ベンチマーク
デュレーション(年)	—	—
利回り(%)	—	—
為替ヘッジ比率	—	—

セクター別構成



- \* ベンチマークは シティグループ米国国債1年インデックス(米ドルベース)
- \* ジニーメイ(GNMA)は政府住宅抵当金庫、ファニーメイ(FNMA)は連邦住宅抵当公庫、フレディマック(FHLMC)は連邦住宅金融抵当公庫、FHLBは連邦住宅貸付銀行、FFCBは連邦農業信用銀行です。いずれの金融機関もGSE(政府系金融機関)と言われ、政府機関債と呼ばれる債券とモーゲージ債と呼ばれる住宅ローン担保債券を発行しています。ジニーメイは米国政府が債務を保証しています。また、ファニーメイおよびフレディマックは2008年9月22日より、米財務省の管理下に置かれており、発行するモーゲージ債には実質政府保証があります。
- \* MBSは不動産担保証券を示しています。
- \* デュレーションは、金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標です。この数値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。
- \* 債券運用部分のデータおよびコメントは、債券運用マネジャーであるM. D. サスの資料をもとに作成しています。そのため、月末の約定タイミング等の問題で、保有銘柄、比率等が、事務管理会社のものとは異なる場合があります。
- \* 組み入れ債券上位銘柄の組入比率は、ファンド全体に対する比率です。それ以外の数値は債券運用部分に対する値となっています。
- \* 為替ヘッジ用に確保してある現金を除いて開示しています。

本資料は、ファンドの運用状況等を開示することを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は、信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中の運用実績に関するグラフ、数値等は過去のものであり、今後の運用成果や市場環境等を保証するものではありません。投資信託は、株式等値動きのある証券に投資しますので、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

管理会社 SBI ファンドマネジメントカンパニーエスエー

(SBI Fund Management Company S.A.)

所在地 ルクセンブルグ大公国 ルクセンブルグ L-2520 アレ・シヤファー5  
(5, Allee Scheffer, L-2520 Luxembourg, Grand Duchy of Luxembourg)

## (1) 米国債券市場概況

当月の証券市場は、投資家が米国の新政権の下での大幅な政策変更を予想して様子見姿勢を採ったことから、比較的閑散取引となりました。今後、変更される可能性がある経済政策としては、貿易、(法人税に関する)税制、金融規制、インフラ支出などが挙げられています。当月初旬に公表された2016年12月の米連邦公開市場委員会(FOMC)の議事録では、「今後数年の財政政策が拡大方向に動く見込まれることから、経済成長予測に対する上振れリスクが高まった」との見方が示されました。

当月に発表された米経済指標は引き続き堅調な内容となりました。2016年12月の非農業部門雇用者数は、市場予想を若干下回る15万6千人増となりましたが、過去2カ月間の数値は上方修正されました。重要なことは、12月の平均時給が市場予想を上回る前月比+0.4%増、前年同月比+2.9%増の伸びとなったことに加えて、当月は世界経済も改善の兆しを示し、世界の株式市場が上昇したことです。それでもなお、欧州中央銀行(ECB)は金融政策の現状維持を決定し、現行の資産買取りプログラムを据え置きました。また、英国や欧州の経済指標が市場予想を上回ったことにより、欧州債利回りは年初から大幅に上昇しました。

当期間中は、英大手銀行パークレイズが算出する米国投資適格債券指数、米政府機関モーゲージ債券(MBS)指数の相対収益が、それぞれ+0.09%、▲0.24%となりました。当月の米国国債市場における各年限の利回りの変化、各債券クラスの絶対収益と相対収益は下表のようになりました。

2017年1月の米国国債市場における利回りの変化			
期間	12月末(%)	1月末(%)	変動幅(%)
3カ月	0.50	0.51	+0.01
6カ月	0.61	0.63	+0.02
2年	1.19	1.20	+0.01
3年	1.45	1.46	+0.01
5年	1.93	1.91	▲0.02
10年	2.44	2.45	+0.01
30年	3.07	3.06	▲0.01

同等平均残存期間の米国国債との収益比較			
資産クラス	絶対収益(%)	相対収益(%)	平均残存期間(年)
米国国債	+0.23	—	6.1
米政府機関債券	+0.31	+0.11	4.1
投資適格債券	+0.34	+0.09	7.1
米政府機関モーゲージ債券	▲0.03	▲0.24	4.8

本資料は、ファンドの運用状況等を開示することを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は、信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中の運用実績に関するグラフ、数値等は過去のものであり、今後の運用成果や市場環境等を保証するものではありません。投資信託は、株式等値動きのある証券に投資しますので、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

管理会社 SBI ファンドマネジメントカンパニーエスエー

(SBI Fund Management Company S.A.)

所在地 ルクセンブルグ大公国 ルクセンブルグ L-2520 アレ・シヤファー5

(5, Allee Scheffer, L-2520 Luxembourg, Grand Duchy of Luxembourg)

## (2) 運用状況および実績

### ◆ 債券運用部分

シティグループ米国国債1年物インデックスの収益率+0.147%、1年物のLIBOR(ロンドン銀行間取引金利)の総収益率+0.117%に対して、1月の当債券運用部分のドル建ての収益率は月間で▲0.05%となりました。

### ◆ 為替ヘッジ部分

ドル/円は116円台後半からスタートしたあと、月を通じて円高基調となりました。月初は、米経済指標が改善し、円安・ドル高で始まりましたが、米金利の上昇が一服すると持高調整の円買い・ドル売りが優勢となりました。トランプ氏の就任前の会見で、経済刺激策への具体的な言及がなかったことから失望感が広がり、円買い・ドル売りが進みました。さらに、英国のメイ首相が欧州連合(EU)単一市場から撤退すると表明したことや、トランプ氏がドルは「強過ぎる」と発言したことも、円高・ドル安要因となりました。中旬には、イエレンFRB議長の利上げに前向きな発言や、米物価統計を材料に円売り・ドル買いが入りましたが、トランプ氏の就任演説が保護主義的な内容だったことから、再び円買い・ドル売りが優勢となりました。月末にかけては、世界的な景況感の改善を背景に「低リスク通貨」とされる円を売ってドルを買う動きが優勢になる局面もあったものの、米大統領令を巡る混乱懸念やトランプ氏の円安誘導批判を受け円高が進み、結局112円台後半で月末を迎えました。

## (3) 運用方針と市場見通し

### ◆ 債券運用部分

2016年12月のFOMC議事録によれば、「参加者の約半数は自身の予測に(新政権の)財政拡大政策に基づく想定を織り込み始めた。」としており、金融市場はそうした当局の楽観的な成長見通しを割り引いてみています。したがって、今後の市場動向は、実際の政策実行によって左右される見込みです。世界経済の不確実性や市場の変動率の高まりは、高格付けの短期債券へ投資する当債券運用部分のリスク/リターン特性に好ましい影響を与えるでしょう。

### ◆ 為替ヘッジ部分

為替については、引き続きヘッジは行わない予定でおります。

※米国債券部分につきましては、運用を行っているM.D.サスからのコメントをSBIファンドマネジメントカンパニーエスエーにて和訳・編集し記載しております。

---

本資料は、ファンドの運用状況等を開示することを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は、信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中の運用実績に関するグラフ、数値等は過去のものであり、今後の運用成果や市場環境等を保証するものではありません。投資信託は、株式等値動きのある証券に投資しますので、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

管理会社 SBI ファンドマネジメントカンパニーエスエー

(SBI Fund Management Company S.A.)

所在地 ルクセンブルグ大公国 ルクセンブルグ L-2520 アレ・シヤファー5

(5, Allee Scheffer, L-2520 Luxembourg, Grand Duchy of Luxembourg)